

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 1月 8日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4292400019		
法人名	医療法人 伴帥会		
事業所名	グループホーム椿高野		
所在地	長崎県雲仙市愛野町乙 2314-5		
自己評価作成日	平成 25年 12月 3日	評価結果市町受理日	平成 26年 1月 24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所一階
訪問調査日	平成 25年 12月 27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none">・「空間・空気・微笑」を大切に入居者・ご家族の方が安らぎを感じられる環境です。・入居者と職員が週 1 回音楽療法の先生のもとで「機能訓練」「回想法」「嚥下訓練」に力を入れ、楽しみながら行っています。・「地域の交流」入居者の方は職員と一緒に近隣のスーパー・役場・郵便局・老人会の催し物の参加等で地域の中に溶け込まれています。又、地域の方に訪問して頂き、味噌作りの体験をする等して地域に密着していける様に取り組んでいます。・リビングには沢山の来客に対応できる広さと癒しの空間、全体が温かく和らいだ雰囲気となるよう配慮しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

<p>当該ホームは、利便性も良く、玄関からの広い廊下とゆとり空間もあり、馴染みの職員がいつも寄り添い、入居者を見守る共用空間の雰囲気が、日差しを受けて更に暖かさを感じられる。法人内の病院、介護老人保健施設及び、平成 24 年 12 月には、共用型ディサービスを開始され、24 時間 365 日の医療体制で支援されている。職員は、法人内外の研修や接遇・感染症対策委員会等に籍をおき、専門的知識の研鑽に励み、職員相互の共有により、質の向上に努められている。また、職員の定着により、入居者及び家族の信頼と安心に繋がっている。常に、真摯な姿勢で理念及びケア目標に添って、書道やリズム運動等できる事で日々、楽しんで頂ける様に支援されている。</p>

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の掲示をしており、毎月の合同会議や申し送りにて理念の確認、意見を出し合い統一したケアにつなげるよう共有し実践している。	一人ひとりの今の時間を大切に、安心のある暮らしを見守り、暖かい雰囲気の中で過ごせる様に、理念を意識して支援に努められている。「行事計画は何のために」を追及して、心を込めて立案を考慮されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣中学生徒の体験学習の受け入れやなじみの店に買い物に出掛けたり、町内の催し物やお祭り行事等の参加をしながら繋がりを大事にしている。	食育を通じて近隣の米屋の協力の下、遠方より指導者を招き、地域の方も参加して味噌作りを実践され、日々の味噌汁を味合われている。地域の行事や同施設の催事にて交流の機会を持たれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症ケアの専門性、実践を活かして地域住民やご面会者、ご家族の相談を受け介護の不安や負担軽減につながるアドバイスをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議に参加して頂く際、実際に昼食を食べて頂いたり、報告書を写真付きで分かり易く伝えることで意見を出しやすく評価をいただけるようにしている。	会議に老人会代表が参加頂ける事により、入居者の状況や活動内容を理解して頂き、意見を伺えると共に発信の尽力を喜ばれている。家族の意見により、同老健施設にAED設置に繋がっている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議には、必ず市町村担当者にご参加頂いている。又、認定更新の機会に入居者の方と共に出向き、暮らしぶりやニーズを伝えながら連携を深めるよう努めている。	市との連携に努めながら、ホームページの明確さを追求して広報の充実を考慮されている。地域包括支援センターにおいて2カ月おきの地域ケア会議に参加され、意見交流にも努められている。	

6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員が法人内の身体拘束廃止委員会に参加しており、合同会議や日々の申し送り等においてケアの振り返り、言葉や行動を抑制していないか点検し、ご本人・ご家族とも相談、話し合いを繰り返している。	標語「言葉遣いは心遣い」を掲げて、接遇及び身体拘束委員会で話し合いの内容を職員に周知されている。拘束のない思いに添ったケアに取り組み、転倒等を未然に防ぐ為にも家族に状況変化を伝えて理解と協力を得られている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止委員より、高齢者虐待防止関連法について合同会議時に学ぶ機会を設けたり、研修参加により理解浸透や遵守に向けた取り組みを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実際に現在利用されている方もおり、社会福祉協議会、ソーシャルワーカーと連携をとっている。又、助言を受けながら充実した支援に結び付けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、事業所のケアに関する考え方や取組み、退居を含めた対応可能な範囲について説明を行っている。ご本人ご家族の不安、疑問を聞きだし、十分な説明と理解を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護計画の見直し時以前にご家族の意向等を聞く機会を設けている。又、利用者直筆の通信文を添えた便りをご家族に届けたり、携帯電話・メールを利用しながら情報提供を心掛けている。	入居者の若かりし頃を振り返り、入居者の言葉と家族からの聞き取りをまとめて、ミニ自治会機関紙として2ヶ月を目途に発行されている。職員と家族も共感して、感慨深い感謝の念が感じられる。家族の行事への参加と日帰りや外泊帰宅の協力も得られている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	合同会議、個人面談を行いながら意見や提案を出せる雰囲気、環境作りや委員を通して自分自身の意見を出せるようにしている。	職員の離職もなく、昨年職員が話し合い勤務体制の変更をしたり、職員会議を30分程で終了する等改善されている。法人内の各分野の委員会研修内容を職員に周知して、専門的知識も研鑽されている。	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は現場に來られ、個人面談を行い、職員の意見を引き出し、やりがいのある環境作りに努めている。又、現場では利用者とお茶を飲んだりしながらホームでの現状把握に努めている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修に積極的に参加し、資質の向上に努めている。又、研修内容は研修報告会にて全職員にフィードバックし、ホーム全体で共有している。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>島原半島、雲仙市の連絡協議会加入し、交流と情報交換を行っている。又、研修会や風船パレーの委員を通して同業者と交流する機会を作っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面談において生活状況を把握するよう努め、ご本人の求めていることや不安を理解するよう努め、安心してホームに來て頂けるよう環境作り、関係作りをしている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>事前面談においてご家族の苦勞や今までのサービスの利用状況等、これまでの経緯についての不安を聞き出せるよう環境作りと関係作りをしている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時、ご本人やご家族の思い、状況を確認し改善に向けた支援の提案、相談を繰り返す、可能な限り柔軟な対応を行っている。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	支援する側、支援される側という意識を持たず、それぞれの得意分野を活かし、料理の味付け、野菜の作り方を教えて頂いたりお互いが協働しながら和やかな生活が出来る様に場面作り、声掛けをしている。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の日頃の状態をこまめに報告、相談と共にハガキをご自身で書いて頂いたり、電話をかけたりにしながら関係が途切れないようにしている。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の社会性や継続性に繋がるよう馴染みの床屋、美容室、以前勤務されていた職場を訪問したり関係が途切れない様に支援している。	入居者の思いや意向に寄り添って、職員と共に選挙の投票やお葬式に参列したり、馴染みの同級生・職場のOBの訪問を快く受け入れの支援もされている。入居者が若い頃生活していた長崎市内の見学支援等をされている。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日の食事やおやつ、音楽レクの時間は、和やかな雰囲気の中、職員も一緒に多くの会話を持つようにし役割を通して利用者同士の関係が円滑になるような働きかけをしている。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了された方のごところへお見舞いや誕生日、敬老のお祝いを通してこれまでと変わらない関係を大切にしている。又、ご家族が話しやすい、相談しやすい関係作りに努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中から思いや希望を汲み取り、ご家族を交えて話し合っている。又、職員間で情報の共有をし、ご本人の意向に近づけるよう努めている。	入浴支援と調理作業や食事の時の楽しい会話の中で、ひとり一人の思いの把握に努められている。自信と満足に繋がる支援を心掛けて、買い物で魚の選別や洗濯たみ等できることを共有されている。	

24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	普段のご本人との会話の中からやご家族、友人らの協力も得ながら生活歴等の把握に努めている。		
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムを把握しながらできることへの働きかけを全員が共有できるように記録をとり、申し送りを行っている。		
26	10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	事前に利用者、ご家族に意見を聴取し、スタッフ全員でケアプラン会議を開催し作成、見直しを行っている。又、日々の支援については、個別支援計画書を作成、職員とご家族間の情報の一元化を図っている。	入居者の観察シート（行動・家族関係・入浴・排泄）等の詳細な内容をもとに、職員・家族の意見も集約してプランを作成されている。計画に基づき（長期1年、短期3ヶ月）の状況の達成度を振り返り、担当職員が評価して次の作成に繋がられている。	
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	勤務開始前に日々の様子、ケアの実践等を確認しながら申し送りを受け、その日のケアの実践を工夫し、気づきを増やせるようにしている。		
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方ご家族、姉妹の面会等においてゆくりした時間がとれるよう、宿泊室や食事の提供をするなど柔軟に対応している。		
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	図書館の利用、ご本人の状態に応じて訪問理美容サービスを利用している。		
30	11 ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族と相談しながら、入居後もかかりつけ医や希望の病院へ受診出来る様に支援している。又、受診報告書にて結果・経過を伝え相談、その時々で状態受診支援をしている。	定期受診は職員の支援で眼科、歯科は家族の協力を得られている。入居後かかりつけ医の変更と夜勤時の急変は看護師への相談や救急搬送等迅速に対応されている。2週間に1回心療内科の往診も支援されている。	

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日のバイタルチェックや日常の状態変化、気づきや情報を看護師に伝え相談している。又、母体である医療機関と連携をとり早期受診につなげ利用者の負担軽減に努めている。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、職員が毎日のお見舞いに行き、病院側とその時々状態に応じた情報交換をしながら、ご家族・主治医・ソーシャルワーカーと相談し早期退院につなげるよう連携会議にも出席し連携に努めている。</p>		
33	<p>12 ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化や終末期に対する事業所の基本的方針を明示、説明している。又、その時々状態に応じて面会時等にご家族等の要望を踏まえた話し合いを行うようにしている。</p>	<p>個人面談やアンケートにより、職員の心理的な軽減と把握に努めて、定期的な内部研修を継続的に考慮されている。看護師の健康チェック時に相談をしたりして、入居者の状況の変化を共有して、できることでの支援に努められている。</p>	
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員全員が急変時や事故発生時に備えて定期的に勉強会や実践を行い、マニュアル作成、見直しを行っている。</p>		
35	<p>13 ○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>各ユニットごとの自主訓練と消防署の指導のもと実施する避難訓練、隣接する施設との合同訓練を利用者も一緒に行っている。又、防災委員が定期的に防災・災害について全職員の意識づけに努めている。</p>	<p>今年度は、自主避難訓練を5回（内1回は消防署立会い）実施して、全職員が役割をすべて経験して、身体で覚える様に又、反省を次の訓練に反映して取り組み今回は、H26年2月に実施予定である。防災対策委員会への参加と職員の意見により、入居者ファイルと懐中電灯付リュックを通報装置側に常時置き、訓練時に実践されている。</p>	<p>入居者の安全確保を考慮して、障害物の有無及び災害時の備蓄（消費期限を明記のシート）や安全対策チェックシートの作成により、日常的な管理体制の取り組みに期待したい。</p>

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄時の失敗や声かけ誘導時等は、他の人に気付かれないような声かけや移動介助の工夫をしている。又、自己決定しやすい声かけに努め、ご本人の要望は可能な限り聞き入れ、対応できるようにしている。	入居者一人ひとりの生活暦と人格の背景を把握して、親しみのある方言や自尊心を損なわない様な関わり方を考慮されている。標語「言葉遣いは心遣い」を掲げて、入浴・排泄時のプライバシーにも人格を尊重して、配慮されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの状態に合わせた選びやすく答えやすい働きかけをしている。言葉で伝わらない場面は現物を見て選んで頂くようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れは持っているがその日その時のご本人の状態や気持ちを尊重し、できるだけ個別対応に努めている。又、日々の会話の中から汲み取り、ご本人の希望を尊重して臨機応変に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人のこだわりと生活の継続性を保つ為に馴染みの床屋、美容院へ行けるよう支援している。又、外出時等にお化粧品おしゃれを楽しんで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	会話の中で食べたい物を聞き出し献立に加え、一緒に買い物、調理、味見等楽しみながら食事準備から後片付けを流れとして食事に関われるように工夫している。又、ご家族も一緒に食事ができる環境作りにも努めている。	法人内の給食委員会で管理栄養士のアドバイスのもと、食事バランスチェックを記録することで毎食果物と朝食に一品追加して、栄養のバランスを確保されている。また、入居者も一緒に調理や片付け等できる事をされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量・残食量を把握しながら主治医や栄養士の助言を頂き、その方に合った補助食品等の購入をしている。又、その方の嗜好品や食べやすい物の提供・工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で出来る方は、声掛け、見守りをし、出来ない方は、毎食後口腔ケアを行いながら一人ひとりの力に応じた口腔ケアの支援をしている。		

43	<p>16 ○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>各居室にトイレ完備。排泄チェック表を活用し、身体機能に応じた声かけ、介助をしパット類はご本人に合わせ検討し、失敗や不安を軽減できるように支援している。</p>	<p>トイレ付の居室なので混雑もなく、入居者の行動及び排泄チェック表に沿った声かけで自立支援を心掛けられている。入居者の状況に応じて、布パンツにパットの使用でプライバシーに配慮して自立誘導をされている。</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表を活用し、便秘の方には、バナナや乳製品、食物繊維の多い食材の提供と十分な水分補給を行い工夫している。又、散歩や軽運動を一緒に行うよう支援している。</p>		
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>タイミングを見ながら声かけを行い、その時の気分で入浴して頂いたり、入浴嫌いな方には、予約制やご家族の協力を得ている。季節には、ゆず湯や菖蒲湯等の工夫もしている。</p>	<p>入居者の状況に合わせて、週3回を目途に午後入浴支援をされている。季節感も大切に菖蒲湯・柚子湯・アロマ等気持ちよく楽しんで頂ける様に配慮されている。清拭や足浴等清潔保持に努められている。</p>	
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>なるべく日中の活動を促し生活リズムを整えるよう努め、身体状態、一日の流れに応じて必要な休息を取り入れ、無理のない様支援している。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬ファイルを作成し、全職員に分かるようにし、変更があれば申し送りや介護記録に記載し服薬後の変化が分かるように様子・症状等も記載するようにしている。</p>		

48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野で力を発揮できる様に食事作りや花の手入れ、裁縫等の場面作りに努めている。又、季節に応じた外出や行事を行い気分転換が出来る様に支援している。		
49	18 ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望に沿っていきつけの寿司屋や理美容、買い物、外食支援をしている。又、戸外で家族や地域の方の協力を得て花見を行ったりもしている。全介助の方も一緒に参加されている。	入居者の希望でご夫婦一緒にの墓参りに職員2名で支援されたり、季節の花見見物や外食等状況に応じて、外出の機会を多く支援されている。入居者ひとり一人の思いに添った外出も支援されている。	
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の協力を得ながら、ご本人に安心できる範囲のお金を持って頂き希望がある時は買い物に出かけ直接支払いをしてもらうようにしている。又、職員がある程度のお金を渡し、レジでの支払いができる様支援している。		
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望に応じて電話をかけたたり、携帯電話を使用し自室でゆっくりお話が出来る様に支援している。又、ご家族の協力のもと兄弟や友人らに年賀状や暑中見舞いを送れるようにしている。		
52	19 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや廊下には一人ひとりの居心地の良い場所があり、明るい陽射しが入るようになってい。又、タペストリーや花等で目でも季節を感じるように環境作りに配慮している。	ユニットそれぞれに雰囲気違うが、日差しの当たる温かい場所や各所にゆったりと過ごせる様にソファを配置されている。入居者は、職員の見守りのもと好みの場所で寛いで過ごされている。	
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの状態の変化、利用者同士の関係性等を配慮し、リビング・テラス・廊下・玄関等に椅子やベンチを設置しゆっくりくつろげるよう工夫している。		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの利用者に馴染みの物や写真、思い出の品々を持ち込んで頂き居心地良く過ごせるようにご家族と協力しながら空間作りをしている。	入居者の我が家として、トイレ付の居室はテレビやテーブルに椅子等持ち込まれている。家族の写真やご自分の時間をゆったりと過ごせる様に馴染みの書籍等を持ち込み、音楽にも親しまれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本人の身体状態に合わせて、手すりの増設、ご家族と相談しながら物の配置、収納タンスに札貼りをする等の工夫をし、自立した生活が送れるように支援している。		

V アウトカム項目

56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
				2, 利用者の2/3くらいの
				3, 利用者の1/3くらいの
				4, ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
				2, 数日に1回程度ある
				3, たまにある
				4, ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
				2, 利用者の2/3くらいが
				3, 利用者の1/3くらいが
				4, ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
				2, 利用者の2/3くらいが
				3, 利用者の1/3くらいが
				4, ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
				2, 利用者の2/3くらいが
				3, 利用者の1/3くらいが
				4, ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
				2, 利用者の2/3くらいが
				3, 利用者の1/3くらいが
				4, ほとんどいない
62		利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
				2, 利用者の2/3くらいが
				3, 利用者の1/3くらいが
				4, ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
				2, 家族の2/3くらいと
				3, 家族の1/3くらいと
				4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の掲示をしており、毎月の合同会議や申し送りにて理念の確認、意見を出し合い統一したケアにつなげるよう共有し実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	近隣中学生徒の体験学習の受け入れやなじみの店に買い物に出掛けたり、町内の催し物やお祭り行事等の参加をしながら繋がりを大事にしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症ケアの専門性、実践を活かして地域住民やご面会者、ご家族の相談を受け介護の不安や負担軽減につながるアドバイスをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議に参加して頂く際、実際に昼食を食べて頂いたり、報告書を写真付きで分かり易く伝えることで意見を出しやすく評価をいただけるようにしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議には、必ず市町村担当者にご参加頂いている。又、認定更新の機会に入居者の方と共に出向き、暮らしぶりやニーズを伝えながら連携を深めるよう努めている。		

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員が法人内の身体拘束廃止委員会に参加しており、合同会議や日々の申し送り等においてケアの振り返り、言葉や行動を抑制していないか点検し、ご本人・ご家族とも相談、話し合いを繰り返し行っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束廃止委員より、高齢者虐待防止関連法について合同会議時に学ぶ機会を設けたり、研修参加により理解浸透や遵守に向けた取り組みを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>実際に現在利用されている方もおり、社会福祉協議会、ソーシャルワーカーと連携をとっている。又、助言を受けながら充実した支援に結び付けている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、事業所のケアに関する考え方や取組み、退居を含めた対応可能な範囲について説明を行っている。ご本人ご家族の不安、疑問を聞きだし、十分な説明と理解を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>介護計画の見直し時以前にご家族の意向等を聞く機会を設けている。又、利用者直筆の通信文を添えた便りをご家族に届けたり、携帯電話・メールを利用しながら情報提供を心掛けている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>合同会議、個人面談を行いながら意見や提案を出せる雰囲気、環境作りや委員を通して自分自身の意見を出せるようにしている。</p>		

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は現場に来られ、個人面談を行い、職員の意見を引き出し、やりがいのある環境作りに努めている。又、現場では利用者とお茶を飲んだりしながらホームでの現状把握に努めている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修に積極的に参加し、資質の向上に努めている。又、研修内容は研修報告会にて全職員にフィードバックし、ホーム全体で共有している。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>島原半島、雲仙市の連絡協議会加入し、交流と情報交換を行っている。又、研修会や風船バレーの委員会を通して同業者と交流する機会を作っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面談において生活状況を把握するよう努め、ご本人の求めていることや不安を理解するよう努め、安心してホームに来て頂けるよう環境作り、関係作りをしている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>事前面談においてご家族の苦労や今までのサービスの利用状況等、これまでの経緯についての不安を聞き出せるよう環境作りと関係作りをしている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時、ご本人やご家族の思い、状況を確認し改善に向けた支援の提案、相談を繰り返し、可能な限り柔軟な対応を行っている。</p>		

18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	支援する側、支援される側という意識を持たず、それぞれの得意分野を活かし、料理の味付け、野菜の作り方を教えて頂いたりお互いが協働しながら和やかな生活が出来る様に場面作り、声掛けをしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の方に郷土料理を習ったり、味噌作り体験をする等してお互いに支え合う関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の社会性や継続性に繋がるよう馴染みの床屋、美容室、以前勤務されていた職場を訪問したり関係が途切れない様に支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日の食事やおやつ、音楽レクの時間は、和やかな雰囲気の中で、職員も一緒に多くの会話を持つようにし役割を通して利用者同士の関係が円滑になるような働きかけをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了された方とところへお見舞いや誕生日、敬老のお祝いを通してこれまでと変わらない関係を大切にしている。又、ご家族が話しやすい、相談しやすい関係作りに努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中から思いや希望を汲み取り、ご家族を交えて話し合っている。又、職員間で情報の共有をし、ご本人の意向に近づけるよう努めている。		

24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	普段のご本人との会話の中からやご家族、友人らの協力も得ながら生活歴等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムを把握しながらできることへの働きかけを全員が共有できるように記録をとり、申し送りを行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	事前に利用者、ご家族に意見を聴取し、スタッフ全員でケアプラン会議を開催し作成、見直しを行っている。又、日々の支援については、個別支援計画書を作成、職員とご家族間の情報の一元化を図っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	勤務開始前に日々の様子、ケアの実践等を確認しながら申し送りを受け、その日のケアの実践を工夫し、気づきを増やせるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方ご家族、姉妹の面会等においてゆっくりした時間がとれるよう、宿泊室や食事の提供をするなど柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	図書館の利用、ご本人の状態に応じて訪問理美容サービスを利用している。		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人、ご家族と相談しながら、入居後もかかりつけ医や希望の病院へ受診出来る様に支援している。又、受診報告書にて結果・経過を伝え相談、その時々で状態を受診支援をしている。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日のバイタルチェックや日常の状態変化、気づきや情報を看護師に伝え相談している。又、母体である医療機関と連携をとり早期受診につなげ利用者の負担軽減に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、職員が毎日のお見舞いに行き、病院側とその時々で状態に応じた情報交換をしながら、ご家族・主治医・ソーシャルワーカーと相談し早期退院につなげるよう連携会議にも出席し連携に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化や終末期に対する事業所の基本方針を明示、説明している。又、その時々で状態に応じて面会時等にご家族等の要望を踏まえた話し合いを行うようにしている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員全員が急変時や事故発生時に備えて定期的に勉強会や実践を行い、マニュアル作成、見直しを行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>各ユニットごとの自主訓練と消防署の指導のもと実施する避難訓練、隣接する施設との合同訓練を利用者も一緒に行っている。又、防災委員が定期的に防災・災害について全職員の意識づけに努めている。</p>		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄時の失敗や声かけ誘導時等は、他の人に気付かれないような声かけや移動介助の工夫をしている。又、自己決定しやすい声かけに努め、ご本人の要望は可能な限り聞き入れ、対応できるようにしている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの状態に合わせた選びやすく答えやすい働きかけをしている。言葉で伝わらない場面は現物を見て選んで頂くようにしている。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れは持っているがその日その時のご本人の状態や気持ちを尊重し、できるだけ個別対応に努めている。又、日々の会話の中から汲み取り、ご本人の希望を尊重して臨機応変に対応している。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人のこだわりと生活の継続性を保つ為に馴染みの床屋、美容院へ行けるよう支援している。又、外出時等にお化粧しおしゃれを楽しんで頂いている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	会話の中で食べたい物を聞き出し献立に加え、一緒に買い物、調理、味見等楽しみながら食事準備から後片付けを流れとして食事に関われるように工夫している。又、ご家族も一緒に食事ができる環境作りにも努めている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量・残食量を把握しながら主治医や栄養士の助言を頂き、その方に合った補助食品等の購入をしている。又、その方の嗜好品や食べやすい物の提供・工夫をしている。

42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>ご自分で出来られる方は、声掛け、見守りをし、出来ない方は、毎食後口腔ケアを行いながら一人ひとりの力に応じた口腔ケアの支援をしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>各居室にトイレ完備。排泄チェック表を活用し、身体機能に応じた声かけ、介助をしパット類はご本人に合わせ検討し、失敗や不安を軽減できるように支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表を活用し、便秘の方には、バナナや乳製品、食物繊維の多い食材の提供と十分な水分補給を行い工夫している。又、散歩や軽運動を一緒に行うよう支援している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>タイミングを見ながら声かけを行い、その時の気分で入浴して頂いたり、入浴嫌いな方には、予約制やご家族の協力を得ている。季節には、ゆず湯や菖蒲湯等の工夫もしている。</p>		
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>なるべく日中の活動を促し生活リズムを整えるよう努め、身体状態、一日の流れに応じて必要な休息を取り入れ、無理のない様支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬ファイルを作成し、全職員に分かるようにし、変更があれば申し送りや介護記録に記載し服薬後の変化が分かるように様子・症状等も記載するようにしている。</p>		

48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>得意分野で力を発揮できる様に食事作りや花の手入れ、裁縫等の場面作りに努めている。又、季節に応じた外出や行事を行い気分転換が出来る様に支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>一人ひとりの希望に沿っていきつけの寿司屋や理美容、買い物、外食支援をしている。又、戸外で家族や地域の方の協力を得て花見を行ったりもしている。全介助の方も一緒に参加されている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の協力を得ながら、ご本人に安心できる範囲のお金を持って頂き希望がある時は買い物に出かけ直接支払いをしてもらっている。又、職員がある程度のお金を渡し、レジでの支払いができる様支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>ご本人の希望に応じて電話をかけたたり、携帯電話を使用し自室でゆっくりお話が出来る様に支援している。又、ご家族の協力のもと兄弟や友人らに年賀状や暑中見舞いを送れるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングや廊下には一人ひとりの居心地の良い場所があり、明るい陽射しが入るようになっている。又、タペストリーや花等で目でも季節を感じるように環境作りに配慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりの状態の変化、利用者同士の関係性等を配慮し、リビング・テラス・廊下・玄関等に椅子やベンチを設置しゆっくりくつろげるよう工夫している。</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの利用者に馴染みの物や写真、思い出の品々を持ち込んで頂き居心地良く過ごせるようにご家族と協力しながら空間作りをしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本人の身体状態に合わせ、手すりの増設、ご家族と相談しながら物の配置、収納タンスに札貼りする等の工夫をし、自立した生活が送れるように支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない